

マス塾報聞

島マス記念塾
事務局担当
無責任編集
Tel.937-3385
MASU@OKICITY
SHAKYO.COM



読谷村のコミュニティビジネス

人のつながりと連携が重要

親川善一先生によるフィールドワーク I



★文化を伝えられる人材になりたいと思えました。1つ1つの商品が出来るまでのストーリーに感動しました。行政のつながりがあったのでスムーズに進んだんだなと思えました。

★仲宗根さんの話で、「手を挙げたならば腹をくくると」という言葉。果して自分はどうか？と問われた気がしました。山内さんからはコーディネート力の力を学びました。生産者・

(護得久朝民)

行政・消費者の視点でw.i.w.i.iの関係をつくる。なるほどというお話でした。國吉さんのお話では、情報の発信力を感しました。ぜひ私も地域を活性化する一員になりたいです。

(比嘉修)

★とても楽しいお話ばかりでした。3名の方のお話を聞いて、新しい事を始める行動力がすごいと思いました。情報発信する事や、冬瓜パイ発案の話など、思考の方向性を変えることで生まれる事が沢山あることに気づかされる一日でした。

(浜崎こずえ)

★仲宗根さんは、電波を通してコミュニティを作るのは、新しい方法だと思いました。絶対ゆるがない行動心、かっこいいと思いました。発想ときっかけで何かを生み出せるって素晴らしい事だと感じた。山内さんはこんなにアイディアを生み出したのに懐には入っていないという話を聞いてカッコいいと思いました。むら咲むら！この素晴らしい空間、最初は用無しになったけども、みんなの閃きで素晴らしいテーマパークを創り上げたという奇跡だと思いました。プライベートで絶対遊びに行きたいと思えます！(島袋ひかる)

★研修ツアーを視察する前は、特別なスキルを持った方々が行っているビジネスなのでは

塾生紹介



比嘉尚子

●生まれてから、このかた読谷村に住んでおります。毎年11月の第1土、日に行われる読谷祭りはおススメ！●マイブームはなんでしょうねー？暇さえあれば、フェイスブックを開いてますね●好きなテレビ番組はNHKの朝の連ドラと二時間サスペンスドラマ●好きな芸能人はたっくんですが、最近、仲間由紀恵さんが「花子とアン」の主

人公の友人役で蓮子さんをやっていて、それがすごく美しい。思わずスマホの壁紙にしちゃってます●チャームポイントは、よく食べるとこ●私の性格は、人によっては、取っつきにくく、人によっては、話しやすい人です●自分を動物に例えると、猫かな？●生まれ変わるとしたら美脚になりたい！●実は私！昨年半年で15キロ以上痩せて、キープしててるんです！



●と、思っていました。FMよみたんの仲宗根さん・読谷村役場の山内さん・ククルリゾーの國吉さん、ツアーガイドの親川さん、皆さん信念を持ち、自分の利益だけではなく地域の為にという気持ちで必死に努力した結果だと思えます。私も微力ですが、自分の考えを口に出し地域作りに関わりたいと思います。

(上原あゆみ)

★仲宗根さん、山内さん、國吉さんの三人の地元を思う強い気持ちに伝わってくる講義でした。また、思いだけでなく、行動力やアイディアが素晴らしいので、惹きつけられるものがあると感じた1日でした。

(又吉由加梨)



て勉強になりました。読谷は昔から凄く好きだったんですが、まだまだ奥が深いな〜と思いましたそして創造力、行動力についてすごく考えることができました。

(宮里千裕)



いたFMよみたん代表取締役の仲宗根さん、読谷村建設経済部商工観光課の山内さん、読谷ククルリゾート社長の國吉さんの御三方に共通する「情熱」「アイディア」「実行力」にはとてもとても感銘を受けました。まわりの人みんなが幸せになれるしくみを、私もいつの日か発信していく側になりたいです。

(伊覇朋美)

★人と人がつながり、アイディアを持ち寄り、豊かな暮らしのしくみをつくっていく！ツアーに参加してから、私にできるコミュニケーションビジネスって何だろう？と心弾ませながら考える様になりました。地域経済活性化やむらおこしの取り組みについてお話しして頂

★フィールドワークに参加して、読谷の方の地元おこしに対する姿勢を見ることができ、自分は地元に対して何かできるのかと考えるきっかけになりました。また、「イメージ(思い)が一つならスムーズに進む」と言っていたのが印象に残っています。そんな仲間と一緒に地元、そして沖縄を盛り上げていけたら楽しい



★後半からの参加となりましたが、むら咲きむらと都屋漁港近くにある加工工場を見学させて頂きました。「琉球の風」のセットとして作られた施設は、話題になった時期に一度だけ来場したことがありますが、しかし入場者減により閉鎖の危機がありました。地元の商工会と経済人を中心に新たな観光地として、沖縄の文化を修学旅行生や観光客に手軽に体験できる施設として魅力ある運営をされていると感じました。施設が充実しても他の施設との運営が変わらなければ立地条件のよい所に客足を取られ、また分散してしまう事で互いに経営を悪化しかねない事態になる場合がありますが、むら咲き村は民間経営者の視点から他にない経営をされ、これからの沖縄観光への貴重な資源になると考えます。グローバル社会といわれる昨今ですが、これまで築いてきた文化などを、そこに住まう人たちが新たな

(大城未来)

★仲宗根さんのお話で「情報の共有」が大事だと思いました。SNS等を利用していけばうまくやっつけていけるのでは？と楽観視できました(笑) 山内さんは、毎日、常にいろいろと考える人なんだろうと思います。一番印象に残ったのは、生産者の事を考える！です。そして即の行動力がある方だなと思いました。何かをやり遂げるには、「よそ者、若者、ばか者」が必要と聞いたことがあります。私は若者ではないので、よそ者とばか者の路線で行きたいと思っています！

(菅貴代・14期卒)



在釜(ざいふ) 沖縄市松本2-21-25 ☎923-1441



★「在釜(ザイフ)」普通のお家をカフェ

にしたアイツ屋さんで、オーナーとスタッフは女性です。靴を脱いでくつろげます。インテリアは黒電話や足踏みミシンなど昭和のアンティーク。ショーウィンドウにケーキを販売してありますが、ランチもあり、色んなパスタ、カレー、ロコモコ、オススメは、数量限定の鶏手羽入りのコラーゲンスープ。200円プラスするとデザートにケーキがついてきます。14時から軽食のサンドも出しています。場所は、コープ美里店斜め向かい！11時30分〜21時までですよ。



嘉陽宗智



お昼は、むら咲むらのレストランで美味しいバイキング料理をいただきました!(^^)!!